任務!! 城を調べて活かし方を探せ

三刀屋城址かわら版

三刀屋氏家紋『梶の葉』

STEP① 城を知ろ!

三刀屋城は有名な城より優秀だった!? かくれた名城

三刀屋城は、広島城や松江城と比べると知名度は低い。しかし、三刀屋城がこれらの有名な城に勝るものがある。それは「地の利」である。有名な城の多くは「平城」といって、低い場所にあるのがほとんどだ。しかし三刀屋城は「山城」といって、山の上にある城である。そのため、敵軍を見渡すことができる。さらに、城へ通じる道も細いため、兵が集中して簡単に数を減らすことができる。このように、有名な城よりも戦いに適しているといえるだろう。

城周辺の立体地図を作ったよ

その① 周りを見渡せる立地

その② 崖が急で攻めにくい

その③ 退路が確保できる場所

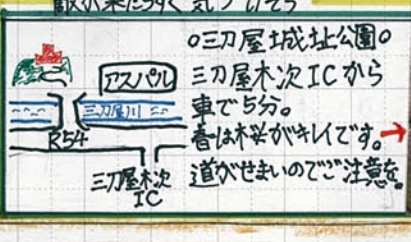
○城の分類○

城周辺の立体地図をつくって分かったこと。

だからこの地に三刀屋城をつくったんだね

城址公園からさつえい一面街を見渡せる敵が来たらすぐ気づけそう

○三刀屋城址公園○



三刀屋木次ICから車で5分。春は木桜がキレイです。道がせまいのでご注意を。

コラムその① 尼子十旗

「尼子十旗」とは尼子氏の居城、月山富田城を守るための十の支城である。月山富田城は安来市にある。

①白鹿城 ②能野城 ③高瀬城 ④神西城 ⑤三沢城 ⑥馬来城 ⑦赤穴城 ⑧大西城 ⑨牛尾城 ⑩三刀屋城

STEP② 三刀屋城主を徹底解剖!

久扶はこんな顔だったかも?

戦国時代の三刀屋城主、三刀屋久扶。彼は尼子氏、大内氏、毛利氏と主君を何度か変えて15年まで生きた武将である。

最初は尼子晴久に従い、1540年の毛利攻めに参加した。しかし、その戦いで敗れたため、出奔し、次は大内義隆に従った。義隆は尼子氏の本拠地、月山富田城を攻めたが失敗し、それにともなって久扶は尼子氏に帰参した。1562年、毛利元就が尼子家を侵攻し始めると尼子家臣の赤穴盛清とともに元就に従った。尼子氏はこの四年後には滅亡するため、久扶は毛利攻交あるため、久扶の勘は中々のものだと言えるだろう。

○久扶をとりまく勢力状況○

った尼子氏が毛利氏をなめ通城、手要た。屋は相重っ刀所がにだ三場子の要

コラムその② 仮説・久扶にも天下が取れた!?～鋭い勘がここで光る～

久扶の勘がさらに鋭くなれば、このような仮説が立つ。まず、1540年の毛利攻めの敗戦時に、毛利側につく。そして毛利家中で地位を高め、1582年の本能寺の変の時に、中国大返し中の秀吉豊臣秀吉を追げきするよう進言する。それが成功すれば、秀吉を倒し、明智光秀をも倒して、京を制圧する。このようにすれば、久扶も天下を取っていたのかもしれない。

STEP③ 歴史を踏まえ、新たな名物を考案

新たな三刀屋の名物「あまモーモー」誕生!?

パッケージデザインを考えてみました

城を活かした何か新しい名物ができないだろうかと考えてみた。三刀屋氏が尼子から毛利へ寝返ったエピソードから思いついたネーミングは「あまモーモー」。「あまこ、もーり…あまモーモー!!」モーモーと言えば、雲南市には木次牛乳という有名な商品がある。甘いモーモーだからミルクセーキ・と言った具合である。地域資源を活かし美味しいスイーツドリンクを開発できれば新たな名物になるはず。

○編集後記○ 戦国時代は難しいので、調べるのは楽しかったです。面白いアイデアが出てきたので、これからも色々なことを調べていきたいです。「あまモーモー」が制作品化されたらうれしいなぁ